

第 43 回卒業式 86 名の巣立ちです



第 52 号
校長 久高利美子

三月七日(土)第四十三回卒業式を挙行しました。卒業生、保護者、職員のみに参加でしたが、厳かな雰囲気の中、開催でき、無事卒業生を送りだすことができました。これまで、温かく見守っていただきました全てのみなさんに感謝申し上げます。

【学校長式辞】

例年とは違う形での卒業式の開催となりましたが、本日、保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに第四十三回東江中学校卒業式が行われますこと、心より御礼申し上げます。保護者の皆様にとっては、今日の卒業式には思いいとおのものがあると思います。あらためてお祝い申し上げます。

八十六名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうでございます。中学校三年間の学業を修めた証である卒業証書を受け取る落着いた態度、たくましく成長したみなさんに心からお祝いの言葉を述べたいと思います。学校という場所は、みなさんが様々な「下」や「上」に出会い、学ぶことの意味を見出し、苦しいことや嫌なことから逃げ出さず、最後まで何かを学びたいという力を自立心を育む場です。みなさん

にとって東江中学校がそういう場所であったらどうか、卒業証書に名前を書く際、一人一人の顔を思い浮かべながら考えていました。聴き合い、学び合いながら授業に取り組んでいる姿、日差しが強い夏、黙々と走っている姿、そしていろいろな思いを抱えながら必死に登校してくる姿、本当に愛おしいみなさんの姿です。

みなさんが生きるこれからの社会は、急激に社会が変動する不確かな時代と言われています。これまでの学校生活で身に付けた「聴き合い」「学び合う」「友達に寄り添う」ことができる、そして協働して取り組むことの楽しさは、これからみなさんが生きていく上での大きな力になることと信じています。大地にしっかりと立って生きていくために、ずっと学び続ける姿勢を忘れずにいてください。また、私が言い続けてきた「想像力・想像力を鍛える」という言葉を忘れずにいてください。これからのみなさんに期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動に対し、温かいご理解とご支援を賜りましたこと心から感謝申し上げます。今後とも変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。式辞といたします。

【保護者代表あいさつ・・・石垣哲秀さん】

東江中四三期生のみなさんご卒業おめでとうございます。みなさんの思い出を振り返りますと、まず最初に入学式のことを思い出します。不安の表情の中、それ以上に希望に満ちた笑顔がありました。そのあどけない笑顔がこの三年間で、とてもたくましく、凛々しくなっています。勉強に

部活、またたくさん恋もしたことがあろう。ときには喜び、笑い、泣きこの青春時代の三年間で学んだことが、これから生きていく中でみなさんの大きな力になるでしょう。その経験した力に自信を持って、これから歩んで行って欲しいと思います。この卒業生の成長に、校長先生をはじめ諸先生方、今日まで優しく、そして、時には厳しく指導頂き、本当にありがとうございました。深く感謝しております。また、私から卒業される皆さんに一番伝えたいことは、自分のやりたいと思った夢は決して諦めないで欲しいということです。どんなに厳しい状況でも必ず諦めなければ夢は叶うと思います。困ったときは、いろいろな人を頼り、またいろいろな制度などを利用して、どうか夢叶うまで諦めないで頑張ってください。東江中で学んだ「不退転」で頑張ってください。諦めなければ、必ずなんくるないさ。また今はさきとした夢がない人も中にはいると思います。いろんなたくさんの経験をしてください。多くの経験をすること、これだという夢が見えてくると思います。必ずなんくるないさ。保護者、先生、ここにいるみんな、皆さんのこれからの応援しています。最後になりますが、保護者、先生方を代表して、私が卒業する皆さんへエールを送りたいと思います。(フーッ) 東江中四三期生！がんばれーがんばれー！卒業生の夢叶う未来を祈念いたします。卒業生保護者代表のあいさつとさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。